

平成17年度「地域医療等社会的ニーズに対応した医療人教育支援プログラム」  
選定教育プログラムの概要及び選定理由

大 学 名	神戸大学		整理番号	115
テーマ番号	2	テーマ名	全人的医療を実現できる医師・歯科医師の養成	
教育プログラム名	総合病床でのクリニシャンエデュケーター養成 副題：大学病院における卒後臨床研修改革と新たな専門医養成への試み			
教育プログラム担当者	秋田 穂東（医学部附属病院・教授）			
（教育プログラムの概要）				
<p>医療に対する社会的ニーズに応えるべく、全人的医療ならびにチーム医療の実践さらには common disease（よくみられる病気）、救急疾患の診療ならびに教育を目的に、新たに総合病床（51床）を設置する。総合病床は、全人的医療を志向する総合診療部と老年内科が協同して運営し、今までにない新しい診療と教育システムの構築の場として機能させる。初期研修として幅広い内科系疾患の診療の場を新たに提供し、後期研修としては、米国から招聘する Clinician Educator（臨床医・教師）“大リーガー医”の指導の下、内科専門医かつ Clinician Educator を米国式教育法にて養成する場とする。卒後教育を主な目的に総合病床を大学病院に設置し、総合診療部と老年内科が協同して運営すること、さらにそこを基盤として Clinician Educator を養成するプログラムは今までなく、全く新しい試みである。</p>				
（選定理由）				
<p>全般的臨床教育と全人的医療教育ができる Clinician Educator を養成する計画で独創性がある。全人的医療とチーム医療の実践、さらに common disease、救急疾患の治療と教育を目的に、従来の総合診療部と老年内科が協力して運営する総合病床を設置する計画を立てている。更に後期研修のために米国からの教授の招聘の準備等も着実に行われている。従来の医師養成教育の中で総合臨床医を育成することの重要性は触れられてきたが、その育成のための指導者養成についてはあまり検討されることがなかった。このプログラムでは初期研修としての全人的医療とチーム医療の基本を身につけること、後期研修ではさらにその姿勢を保ち幅広い臨床能力を有する医師を養成することに加えて、さらにそのような教育ができる Clinician Educator の養成を目指している。実施にあたっては内容を更に検討する必要があると思われる。しかし、臓器専門別に分化し、総合的診療がややもすると失われがちな現在の医学教育・医療の中で、総合病床という病院の診療体系の新しい試み、そこを基盤にした Clinician Educator 養成という試みは今までなく、今後の他大学の全人的医療人養成の上で他大学の模範になることを評価して採択とした。</p>				